
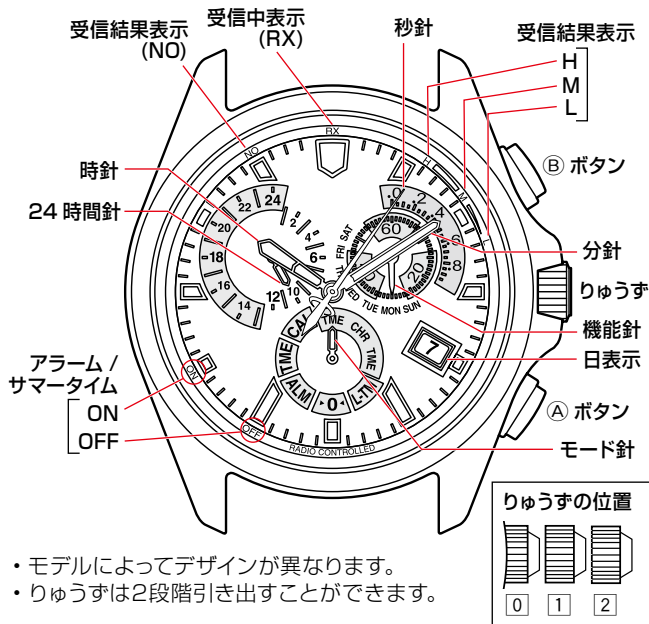


E61x 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  E61x 取扱説明書

各部の名称



モードを切り替える

6つのモード(機能)、[TME](時刻)、[CAL](カレンダー)、[ALM](アラーム)、[CHR](クロノグラフ)、[L-TM](ローカルタイム)、[▶0◀](基準位置修正)を切り替えます。

• 3カ所の[TME]はすべて同じ[TME](時刻)モードです。

1. りゅうずの位置を **1** にする
秒針が 30 秒を指して停止します。
2. りゅうずを回して、モードを切り替える
モード針が動いて、モードが切り替わります。
3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

電波受信の結果を確認する

• この時計は日本の標準電波を毎日受信し時刻を自動で合わせます。

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回して、モードを [TME] または [L-TM] にする
3. りゅうずの位置を **0** にする
4. **A** ボタンを押す
秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信したとき。
M	良い状態で電波を受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。

• 受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する(強制受信)」の手順に従い、電波受信をしてください。

5. **A** ボタンを押して、終了する
現在の時刻に戻ります。
• ボタンを押さなくても、約 10 秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

電波を手動で受信する(強制受信)

• 受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回して、モードを [TME] または [L-TM] にする
3. りゅうずの位置を **0** にする
4. **A** ボタンを 2 秒以上押し続ける
確認音の後、秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合	ピピッと音が 2 回鳴り、修正された時刻を表示します。
受信に失敗した場合	ピッと音が 1 回鳴り、時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。

• 受信を中断したいときは、**A** ボタンを 2 秒間以上押しします。

ローカルタイムを設定する

[TME] の時刻から 1 時間単位で時差を設定し他の地域の時刻を表示することができます。

- ・時差は、[TME] の時刻から -20 ~ +3 時間の範囲で設定できます。

サマータイムの設定を確認する

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回して、モードを [L-TM] にする
ローカルタイムの時刻が表示されます。
3. **Ⓑ** ボタンを押す
秒針がサマータイムの「ON」または「OFF」を指して約 10 秒間停止します。
4. りゅうずを回して好きなモードに変更する
5. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

ローカルタイムとサマータイムを設定する

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回して、モードを [L-TM] にする
ローカルタイムの時刻が表示されます。
3. りゅうずの位置を **2** にする
秒針がサマータイムの「ON」または「OFF」を指して停止します。
4. **Ⓑ** ボタンを押して、サマータイム設定を変更する
ボタンを押すごとに確認音が鳴って、サマータイムの ON/OFF が切り替わります。
・「ON」にすると、時刻の表示が 1 時間進みます。
5. りゅうずを回してローカルタイムを設定する
・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずをどちらかの方向に少し回すと止まります。
・24 時間針を見て、午前 / 午後を間違えないように注意します。
・サマータイムが「ON」のときは、ローカルタイムの設定範囲が -19 ~ +4 時間になります。
6. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

時刻とカレンダーを手動で合わせる

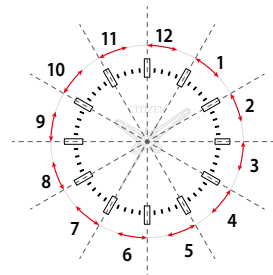
時刻を合わせる

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回して、モードを [TME] にする
3. りゅうずの位置を **2** にする
秒針が、連続回転したあと通常の運針に戻ります。
4. **Ⓐ** ボタンまたは **Ⓑ** ボタンを押す
秒針が 0 秒を指して停止します。
5. りゅうずを回して、時刻を合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずをどちらかの方向に少し回すと止まります。
・時針、分針、24 時間針は連動して動きます。
・24 時間針を見て、午前 / 午後を間違えないよう注意します。
6. 時報に合わせて、りゅうずの位置を **0** にする

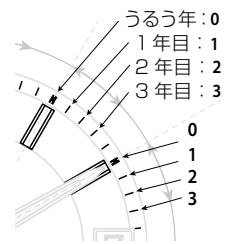
カレンダーを合わせる

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回して、モードを [CAL] にする
3. りゅうずの位置を **2** にする
現在設定されている年と月が秒針で表示されます。
4. **Ⓑ** ボタンを押して修正項目を選択する
・ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
年 / 月 → 日付 → 曜日 → (始めに戻る)
・日付が選択されると、機能針が往復運動します。
・曜日が選択されると、機能針が往復運動のあと曜日を指して、曜日が合わせられるようになります。
5. りゅうずを回して表示を合わせる
・年と月は秒針で表示されます。

「月」は図のように時刻の「時」の範囲で示されます。数字は月を示しています。



「年」うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内の秒針の位置で示されます。



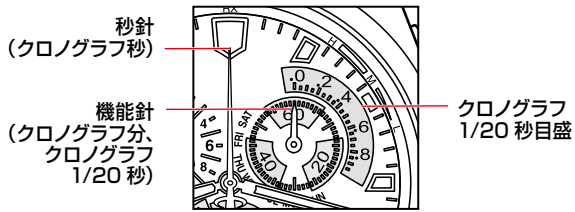
6. 手順 4 と 5 を繰り返す
7. りゅうずの位置を **0** にして、終了する



クロノグラフを使う

1/20 秒単位、最大 60 分まで計測できます。

- ・クロノグラフ使用中は、秒針がクロノグラフ秒を示します。機能針は、クロノグラフ分とクロノグラフ 1/20 秒を示します。
- ・計測中にモードを変えると、クロノグラフはリセットされます。



1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回してモードを [CHR] にする
3. りゅうずの位置を **0** にする
4. 計測する

スタート/ストップ: **ⓑ** ボタンを押します。

リセット: ストップ中に、**ⓑ** ボタンを押し続けます。

- ・ストップ中に **Ⓐ** ボタンを押すと、押し続ける間、機能針がクロノグラフ 1/20 秒を表示します。ボタンを放すと、クロノグラフ分の表示に戻ります。

計測後は

クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」にします。

アラームを使う

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回してモードを [ALM] にする
3. りゅうずの位置を **2** にする
時針、分針、24 時間針が現在のアラーム設定時刻を示し、秒針が現在のアラーム設定 (ON/OFF) を示します。
4. りゅうずを回して、アラーム時刻を設定する
・アラーム時刻の午前 / 午後の区別は、24 時間針で確認します。
・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずをどちらかの方向に少し回すと止まります。
5. **ⓑ** ボタンを押して、アラームを「ON」にする
・**ⓑ** ボタンを押すごとに確認音が鳴って、アラームの ON/OFF が切り替わります。
6. りゅうずの位置を **1** にする
7. りゅうずを回してモードを [TME]、[CAL] または [L-TM] にする
8. りゅうずの位置を **0** にして、終了する
・選んだモードでアラーム設定時刻になると、アラームが 15 秒間鳴ります。
・[TME]、[CAL]、[L-TM] 以外のモードでは、アラームは鳴りません。

アラームの ON/OFF を切り替えるには

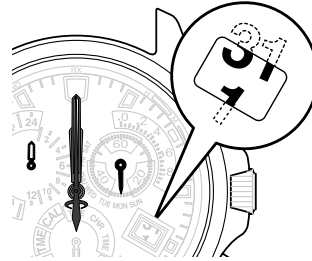
[ALM] モードで **ⓑ** ボタンを押します。

アラーム音をとめる

いずれかのボタンを押します。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回してモードを [▶0◀] にする
3. りゅうずの位置を **0** にする
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
4. 基準位置を確認する
正しい基準位置:
・時、分、秒針: 0 時 00 分 00 秒
・24 時間針: 24
・機能針: MON
・日表示: 「31」と「1」の間



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「**基準位置を修正する**」に従って、基準位置を修正します。

5. りゅうずの位置を **1** にする
6. りゅうずを回して好きなモードに変更する
7. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を **1** にする
2. りゅうずを回してモードを [▶0◀] にする
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
3. りゅうずの位置を **2** にする
秒針が回転したあと止まり、秒針の基準位置が修正できるようになります。
4. **ⓑ** ボタンをくり返し押して、修正する針 / 表示を選ぶ
・ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
秒針 → 時針 / 分針 / 24 時間針 → 機能針 → (始めに戻る)
5. りゅうずを回して、針 / 表示を修正する
・りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続で動きます。動きを止めるにはりゅうずをどちらかの方向に回します。
・秒針の修正は、りゅうずを右に回して行ってください。左に回して合わせることはできません。
・機能針は 5 回転すると日表示が 1 日切り替わります。
6. 手順 4 と 5 を繰り返す
7. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

基準位置修正後は

モードを [TME] にして、時刻とカレンダーを手動で合わせるか、時刻電波を強制受信してください。

